

JASDAQ

銘柄略称: ACKG

証券コード: 2498

# 2012年9月期 決算説明会

2012年11月30日  
代表取締役社長 廣谷 彰彦

 株式会社  
**ACKグループ**



# プレゼンテーション・アウトライン

---

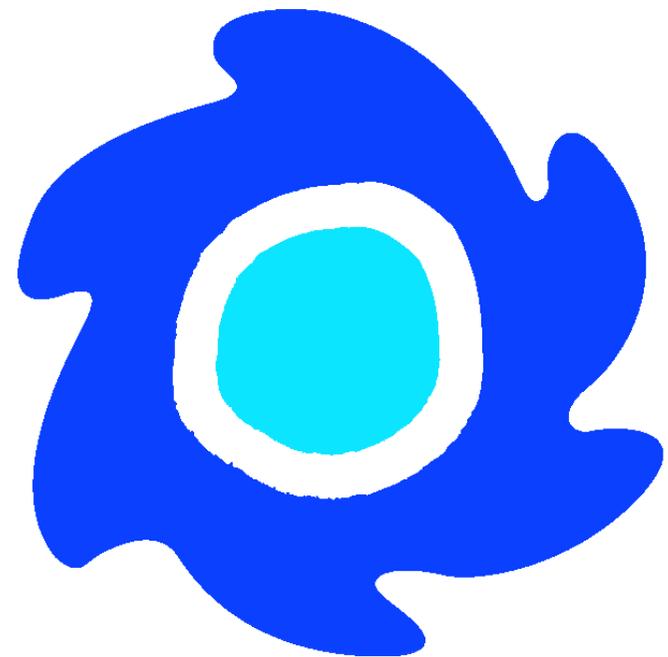
- : ACKグループのご紹介
- : 今回の決算説明会のポイント
- : 2012年9月期 経営改革の実行と成果
- : 2012年9月期 通期業績ハイライト
- : 今後の展開(中期経営計画ACKG2013の推進)
- : 2013年9月期 通期業績見通し
- : 質疑応答

---

## APPENDICES

— 主要トピックス、連結決算詳細

: A C Kグループのご紹介



# ACKグループのあゆみ

(株)オリエンタルコンサルタンツを中心に、  
 確実に成長してまいりました。

1957年	株式会社オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年~	オリコンサルグループを形成し、グループ経営を開始
2006年~	オリコンサルグループを継承し、株式会社ACKグループを創立 株式会社オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画

1957年~



ORICONSUL



1999年~



ORICONSUL  
GROUP



2006年~



ACKG

# ACKグループの提供サービス

海外・民間・国内公共の社会インフラを対象に、  
 企画・提案～計画・設計～保全まで、  
 多様なサービスを、ワンストップで提供しています。



【イメージ】ACKグループが対象とする社会インフラ(抜粋)

# グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している5社を中心に運営しています。

会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	交通・都市・地域・環境・構造・防災・プロジェクトマネジメント など
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	1962年	地質・土質・地盤、調査・構造、さく井、地下水、建造物解体、施工 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・測量・計器類 など
(株)中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・設計・施工管理・維持管理 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	ソフトウェア開発・販売、総務・経理、人材マネジメント など

：今回の決算説明会のポイント

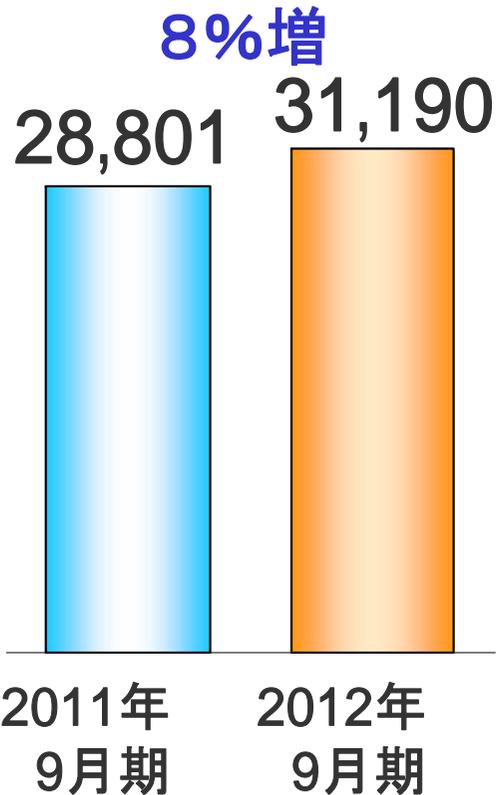


# 今回の決算説明会のポイント

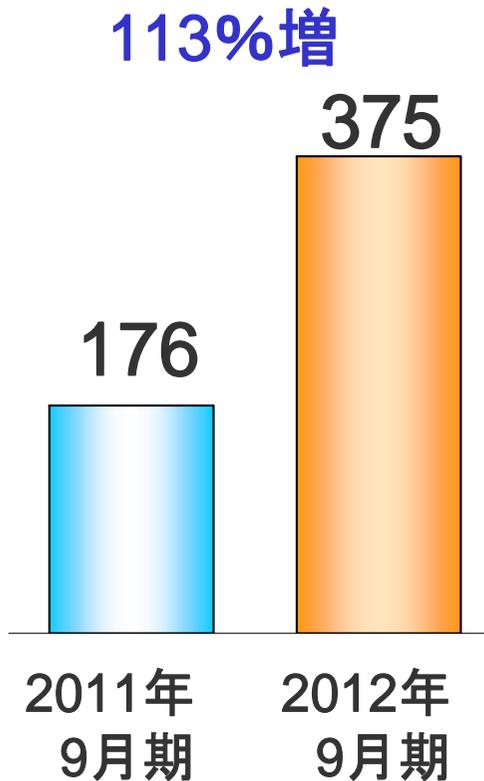
1

業績は増収増益により計画値を達成  
(前期から大きく好転)

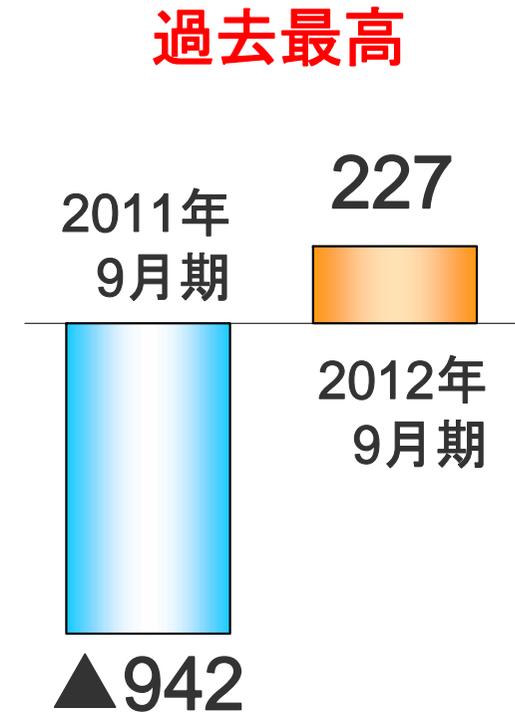
## <売上高>



## <営業利益>



## <純利益>



単位：百万円

# 今回の決算説明会のポイント

2

中期経営計画ACKG2013にもとづき、  
今後変革と挑戦を推進

チェンジ  
[変革]



社会インフラ  
創造企業

チャレンジ  
[挑戦]

: 2012年9月期  
経営改革の実行と成果



# 経営改革の概要

## ■前期からの業績回復を必達目標とし、経営改革を断行

- 合理化施策
  - ・ 経費削減施策の実行
  
- 事業拡大
  - ・ シナジー強化
  - ・ 東北地方の復旧・復興支援体制の強化
  - ・ 重点化事業の推進
  
- 新分野の開拓
  - ・ (株)InterActの共同設立

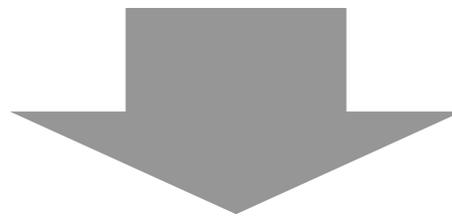
# 合理化施策

## ■経費削減施策の実行

●事務所・拠点戦略の見直し

●組織のコンパクト化

グループ全体の経費削減施策の強化 等



◆効果：当期末には約3億円の経費を削減（前期比）

# 事業拡大(シナジー強化)

## ■シナジー強化(ワンストップ受注拡大)により民間受注が増加

### ●事業会社の合併

大成基礎設計(株)

(株)アサノ建工

2011/12/1設立

(株)アサノ大成基礎  
エンジニアリング

吉井システムリサーチ(株)

(株)オリエスシェアードサービス

2011/10/1設立

(株)リサーチアンド  
ソリューション

### ◆効果: 国内民間受注が約1.2倍に拡大



## 事業拡大(東北地方の体制強化)

### ■東北地方の復旧・復興支援体制の強化により受注増加

- (株)オリエンタルコンサルタンツ:東北支店、震災復興推進室体制強化
- (株)アサノ大成基礎エンジニアリング:東北支社体制強化
- (株)エイテック:東北支店設置 等



### ◆効果:震災復興関連業務(調査、設計)受注が、約2.3倍に拡大



# 事業拡大(重点化事業の推進)

## ■指定管理者、事業経営の開拓により事業拡大

### 公園の維持・管理

- 全体をマネジメントし、利益を創出  
(群馬県立敷島公園)



### 太陽光発電の事業形成・経営

- 全国初のPPP(官民連携)手法により利益を創出
- 市の財政負担はゼロに  
(山梨県南アルプス市)



# 新分野の開拓

## (株)InterActの共同設立

- ・パシフィックコンサルタンツグループ(株)と共同し「(株)InterAct」を設立  
(2012年3月1日)

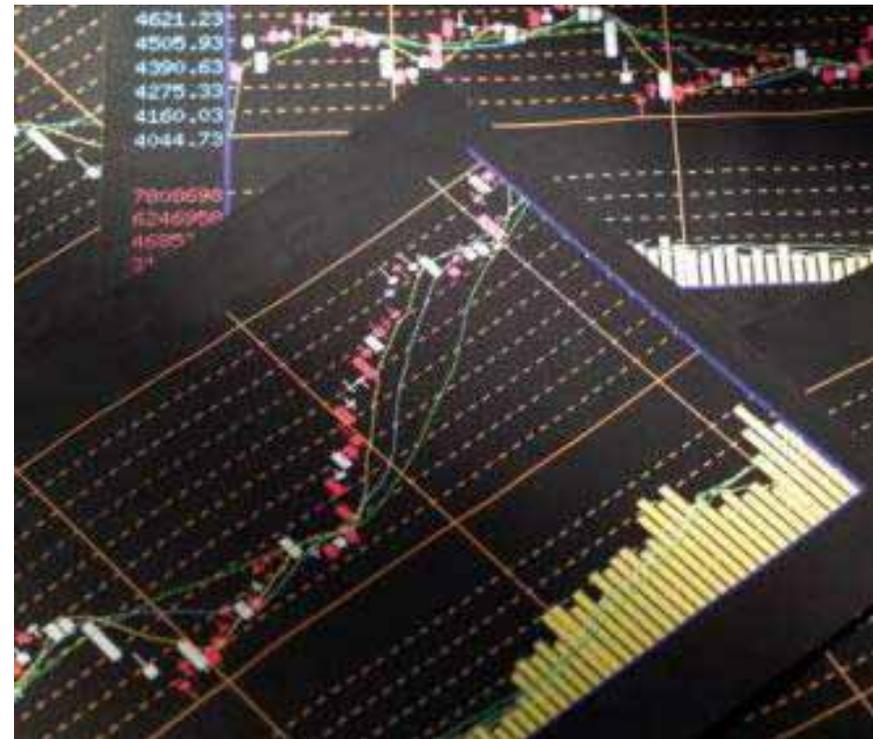


2012/3/1 記者発表風景

### 【効果】

- 「パッケージ型インフラ海外展開」に向けた体制強化
- 国内外(主に海外)の民間企業等が参画する事業への各種コンサルティングや運営又は参画を促進

# : 2012年9月期 通期業績ハイライト



# 連結受注高

受注高は増加、前期比で674百万円(2.0%)増

- 国内公共は、震災復興等の受注増により増加
- 国内民間は、都心再開発事業等の受注増により増加
- 受注残高も大幅に増加、今後の売上に貢献

(百万円)

	前期 (2011/9)	当期 (2012/9)	増減	計画値
受注高	33,815	34,489	+ 674 (+ 2.0%)	-
受注残高	31,018	34,310	+ 3,292 (+ 10.6%)	-

※受注済で生産中の契約総額

# 連結売上高

売上高は増加、前期比で2,389百万円(8.3%)増

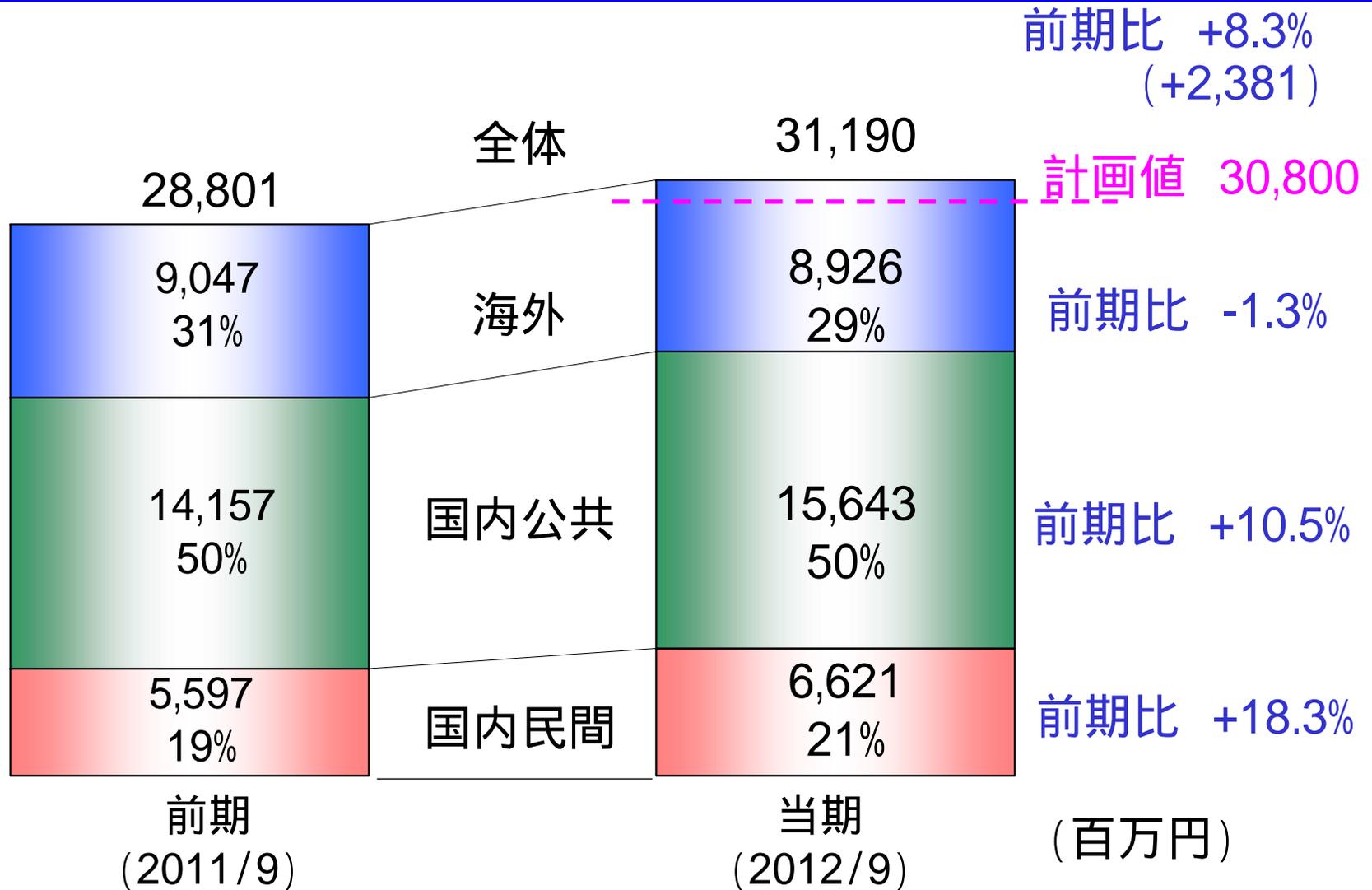
- 国内公共、民間の受注好調により売上高が増加

	前期 (2011/9)	当期 (2012/9)	増減	計画値
売上高	28,801	31,190	+2,389 (+8.3%)	30,800

(百万円)

# 連結売上高 3軸経営分野別

国内公共、国内民間で売上高が増加(前期比約1~2割増)



# 連結損益

損益は前期から大きく改善、当期純利益は黒字化

- 拠点戦略見直しなど合理化施策の実施等により、大幅に改善

(百万円)

	前期 (2011/9)	当期 (2012/9)	増減	計画値
営業利益	176	375	↑ + 199 (+ 113%)	330
経常利益	102	345	↑ + 243 (+ 236%)	280
当期純利益	942	227	↑ + 1,169 ( - )	100

# 貸借対照表 ( B / S )

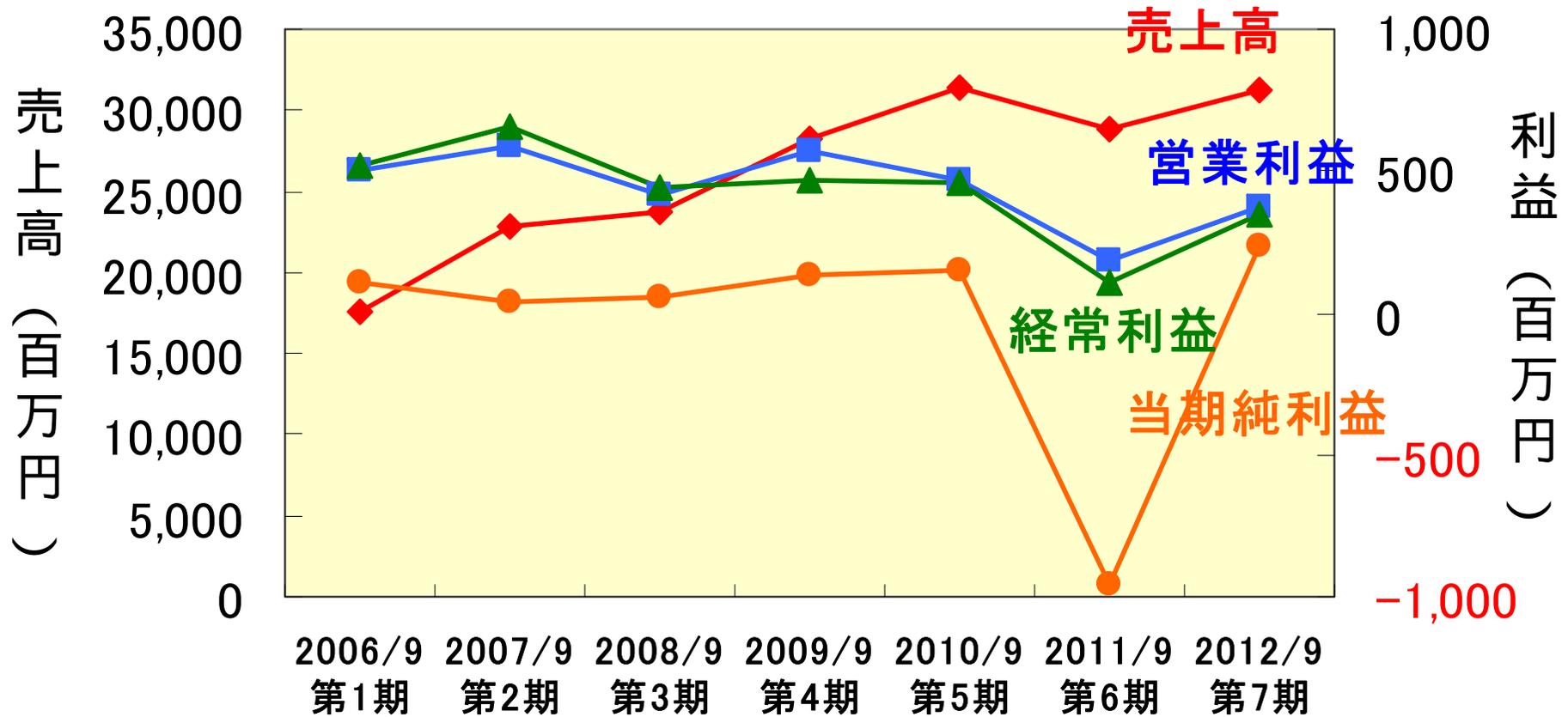
有利子負債の減少により、負債が減少

➤借入金の返済、社債の償還により減少

	前期 (2011/9)	当期 (2012/9)	増減 (百万円)
有利子負債	3,750	2,300	 - 1,450 (- 38.7%)

# 通期業績の推移

■売上高、利益ともV字回復を達成





:今後の展開  
(中期経営計画ACKG2013の推進)

株式会社ACKグループ 中期経営計画

**ACKG 2013**

- 社会インフラ創造企業をめざして -

# 中期経営計画 A C K G 2 0 1 3

## ■事業環境を踏まえた新たな中期経営計画

### 事業環境

- < 国内ニーズ >
  - より効率的かつ効果的な社会インフラの保全
  - 国土・地域の防災、持続可能な社会づくり
  - 社会インフラ整備・維持管理への民間資金活用
- < 海外ニーズ >
  - より現地に根ざした技術・サービスの提供
  - 民間資金を活用したインフラ整備（PPP等）

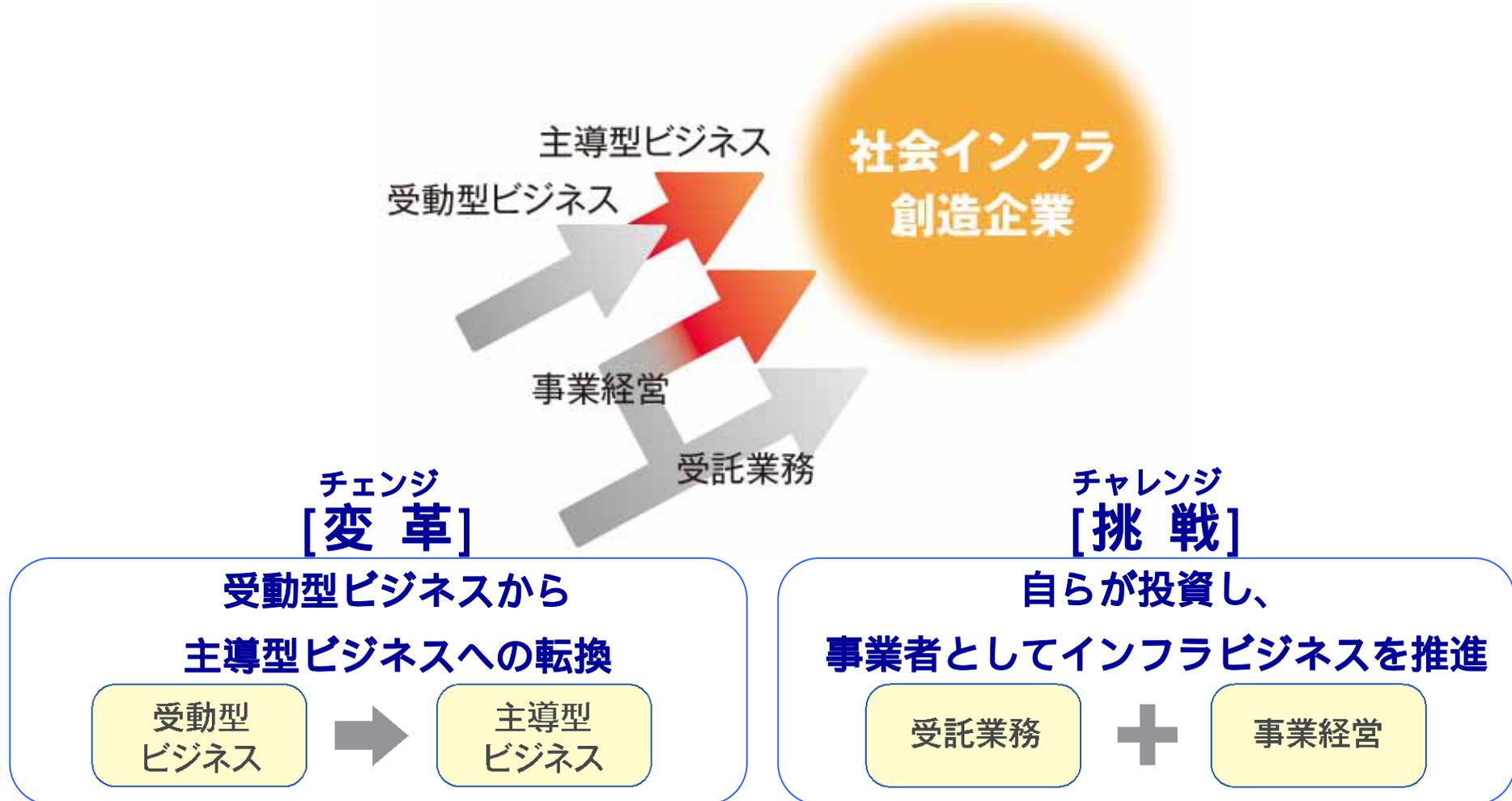


## 中期経営計画 A C K G 2 0 1 3

- ・ 2020年のビジョン
- ・ 2013年9月期～2015年9月期の3ヶ年経営計画

# スローガン

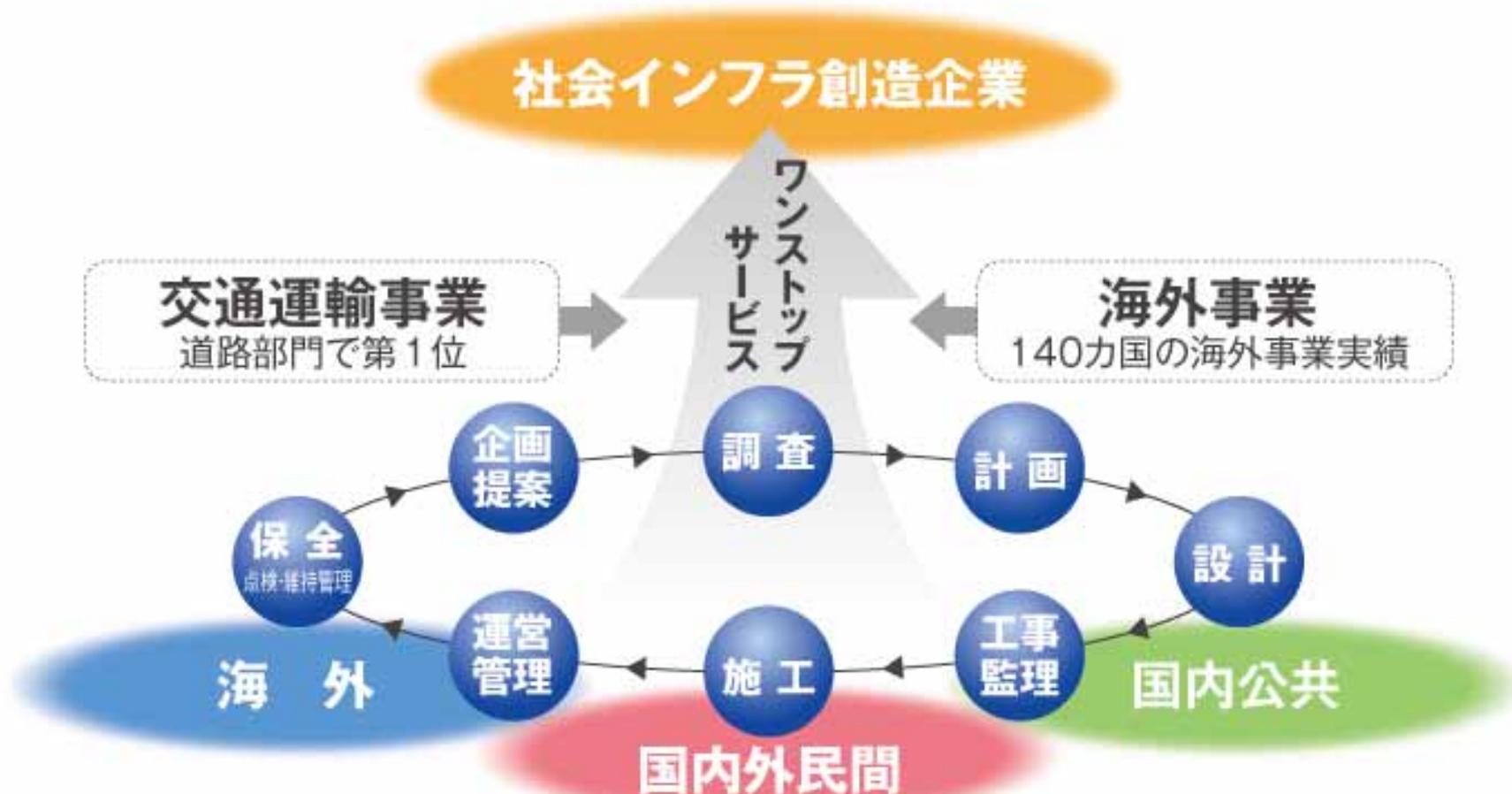
社会インフラ創造企業  
～ 自らが社会を創造する担い手となる～



# 基本方針と目標

## (1) 強みの活用

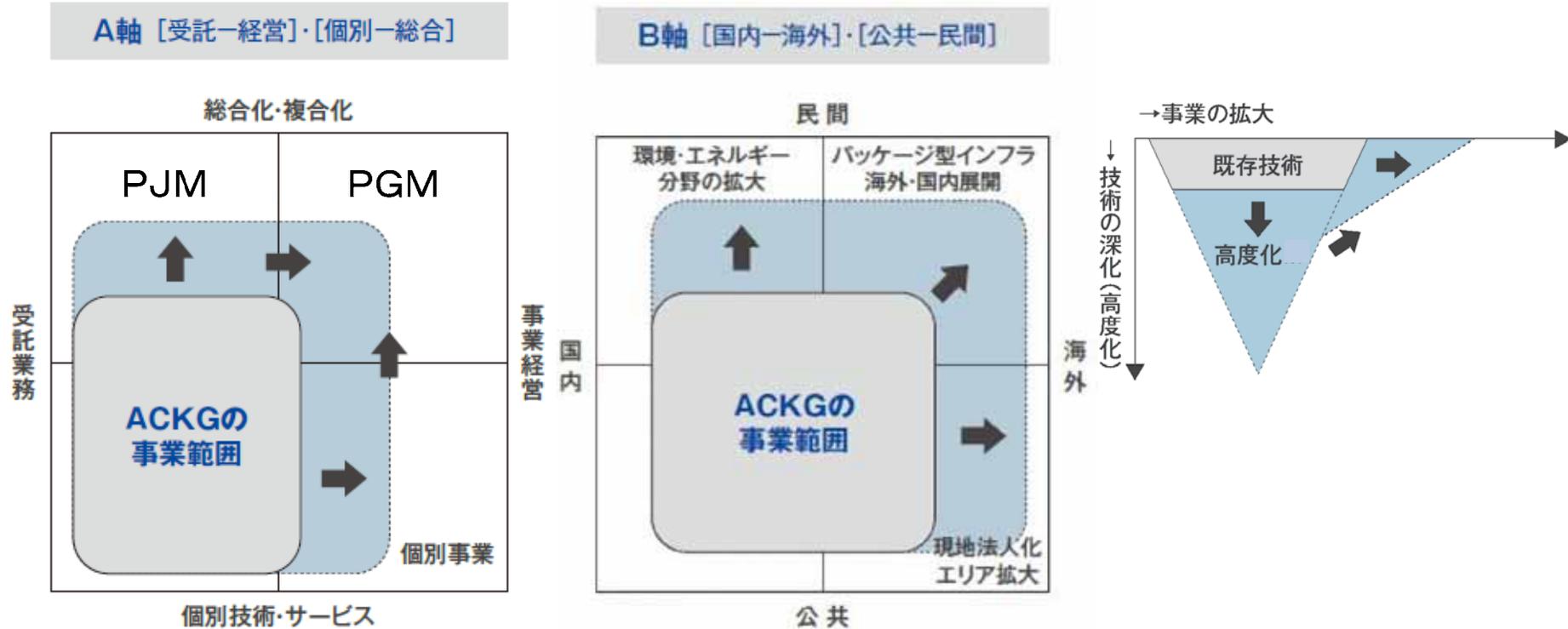
交通運輸事業、海外事業の強みを活かし、  
 グループの力を結集し、ワンストップで推進



# 基本方針と目標

## (2) 事業創造

「技術の深化」と「新たな事業創造」により、  
 公共から民間へ、世界へ



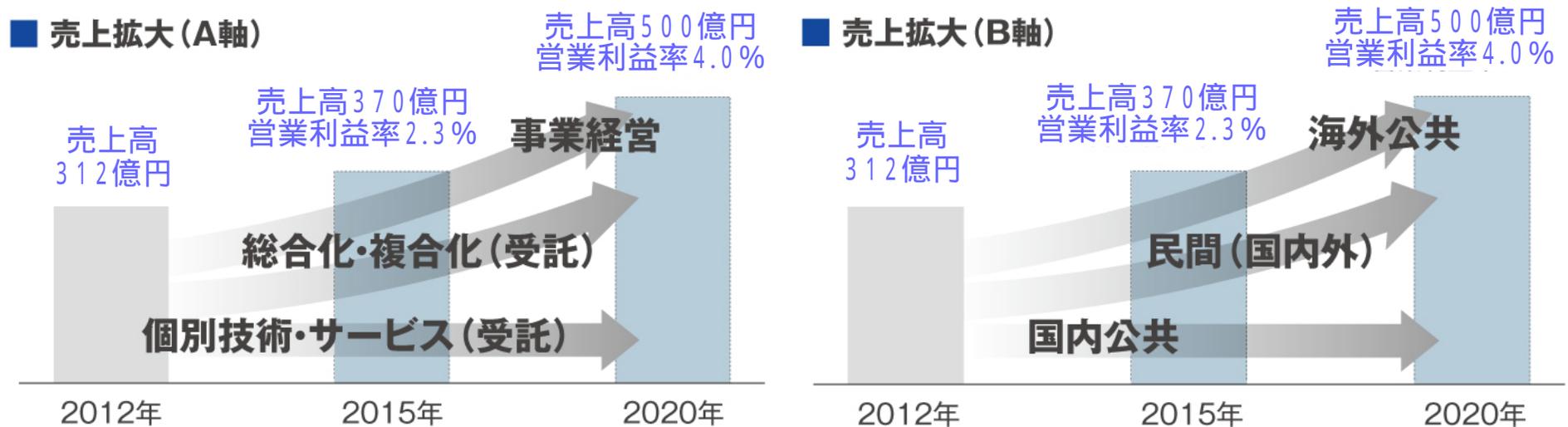
PJM: Project Management  
 PGM: Program Management

# 基本方針と目標

## (2) 事業創造

[目標] 総合化、複合化による事業拡大、  
海外・民間の拡大

✓ A軸[受託-主体]・[個別-総合]、B軸[国内-海外]・[公共-民間]の展開により、2020年の売上高500億円、営業利益率4%を目指す。



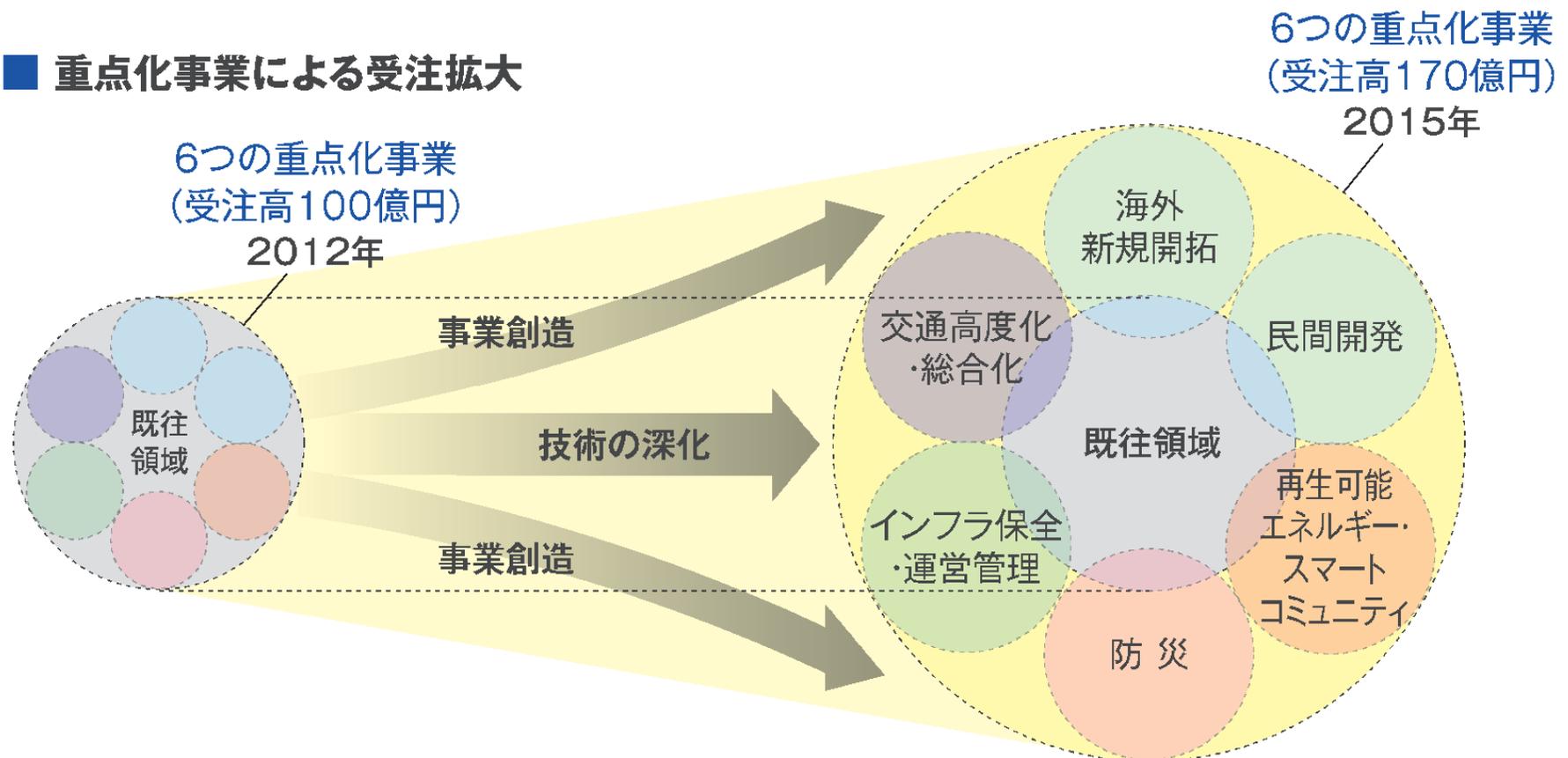
# 基本方針と目標

## (2) 事業創造

[目標] 重点化事業による事業拡大

- ✓ 6つの重点化事業に対して多様なプロジェクトを設定
- ✓ 3ヶ年で10億円を投資し、重点化事業を170億円に拡大

### ■ 重点化事業による受注拡大

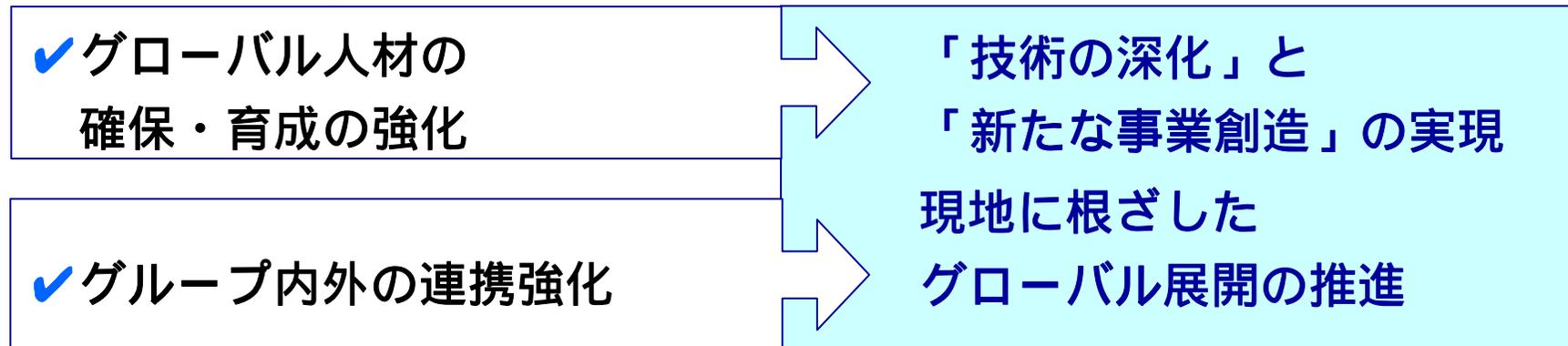


# 基本方針と目標

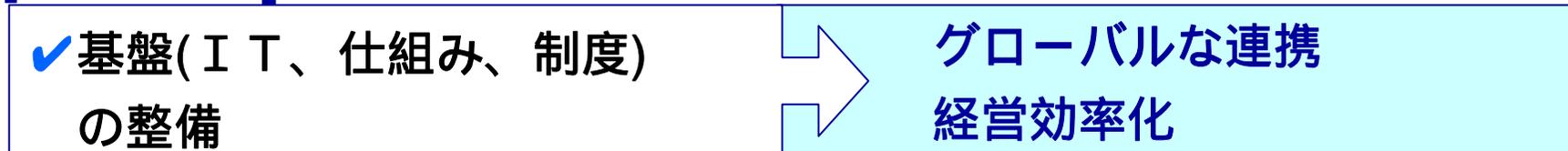
## (3) 育成と連携

国内外から人が集い、育ち、  
国内外シームレスな共同体を実現

### [組織・人材]



### [基盤整備]



# 基本方針と目標

## (3) 育成と連携

### [目標] グローバル人材の育成

- ✓ 2020年までに、グローバル人材を150人以上増員
- ✓ 2020年までに、女性管理職を15人以上増員
- ✓ 3ヶ年で4億円を投資

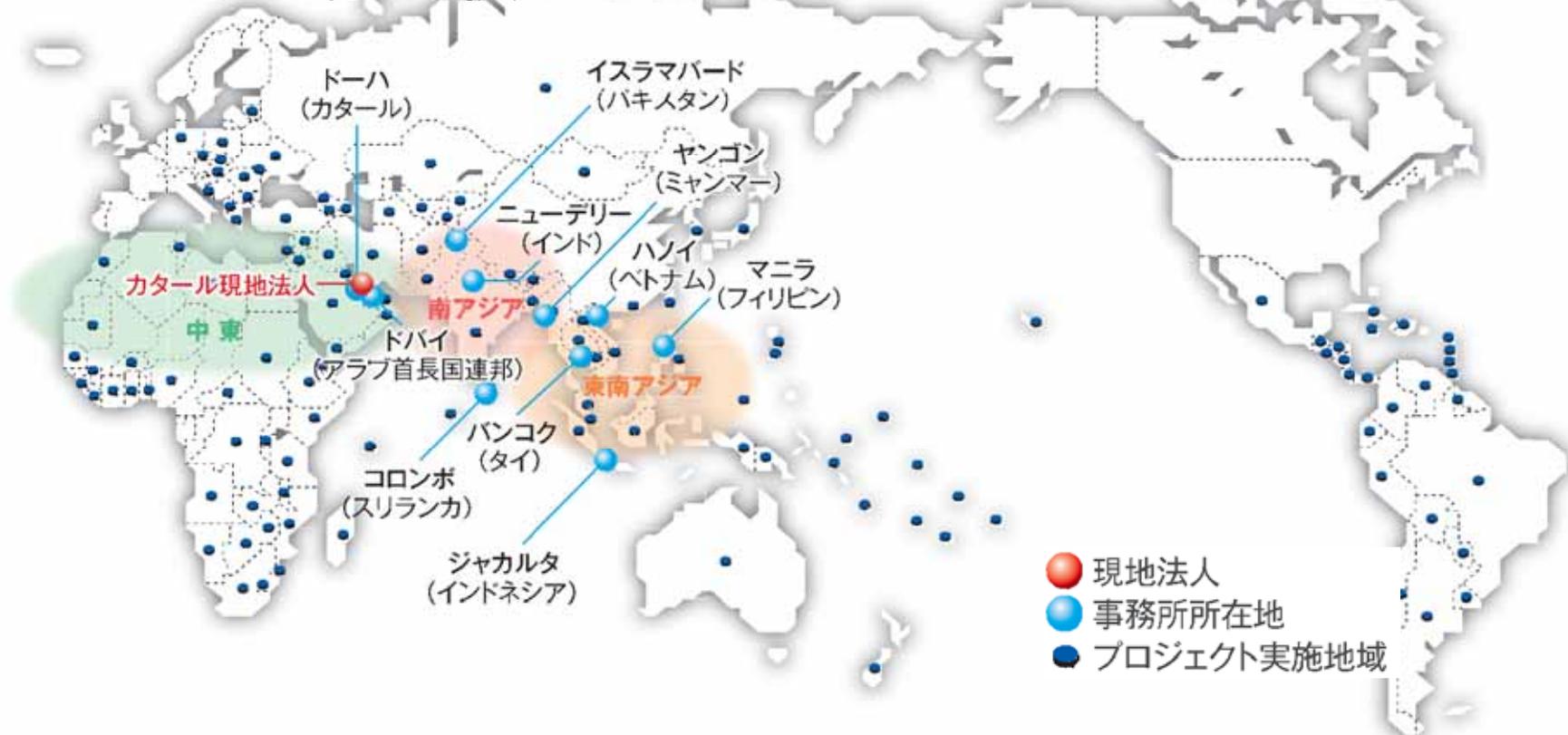


# 基本方針と目標

## (3) 育成と連携

### [目標] 基盤整備の推進

- ✓ ローカルネットワークと、それを支えるグローバルネットワークを構築
- ✓ グループ会計システムの最適化、共通DB構築
- ✓ 3ヶ年で6億円を投資



：2013年9月期  
通期業績見通し



# 2013年9月期通期業績見通し

■中期経営計画ACKG2013の推進等により  
業績達成を目指す

(百万円)

	当期 (2012/9)	来期 (2013/9)	増減
売上高	31,190	33,400	↑ + 2,210 (+ 7.1%)
営業利益	375	470	↑ + 95 (+ 25.2%)
経常利益	345	430	↑ + 85 (+ 24.5%)
当期純利益	227	410	↑ + 183 (+ 80.5%)

# 経営改革の継続

## ■中期経営計画ACKG2013の推進

### ●重点化事業

- ・6つの重点化事業に対して多様なプロジェクトを設定
- ・重点化事業への投資による受注拡大

### ●海外事業

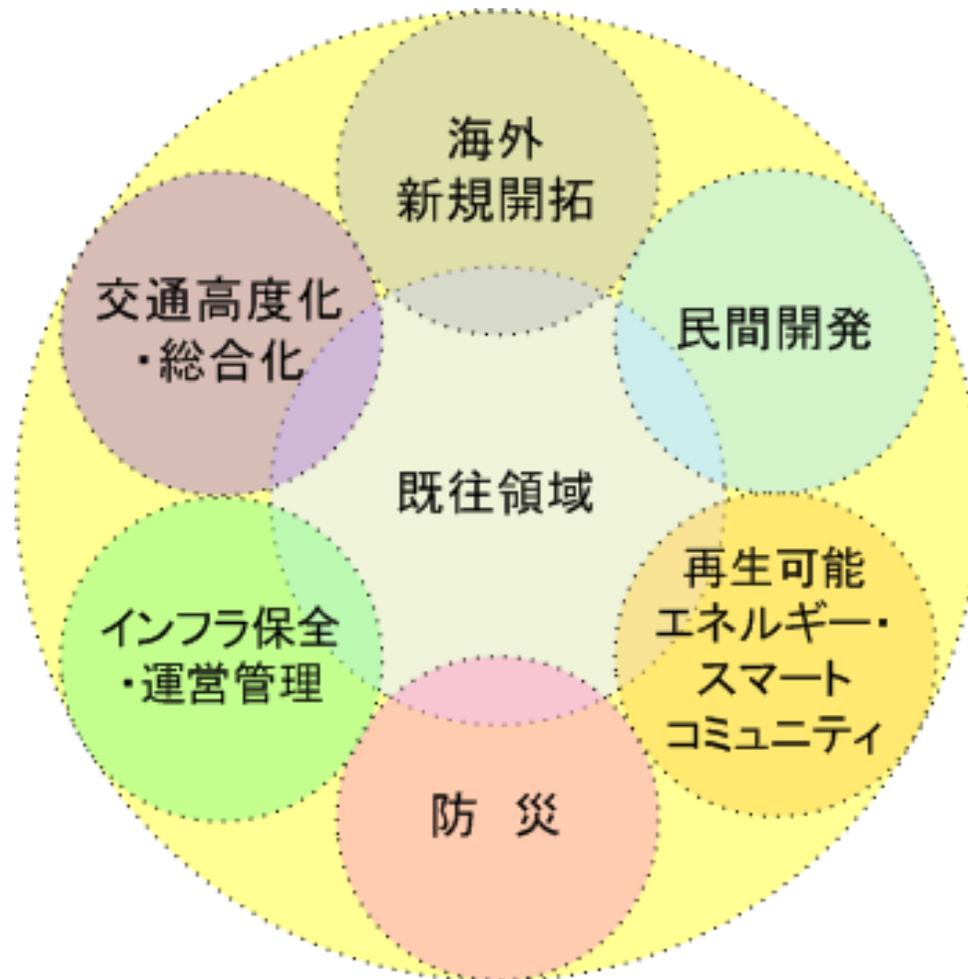
- ・海外事業の拡大を継続

### ●震災復興

- ・震災復興への主導的な取組みを継続

# 重点化事業による事業拡大

- 6つの重点化事業 -



【2013年9月期】  
重点化プロジェクト  
約40件を推進

年間投資予定額  
約3億円

# 重点化事業(防災)

## 現在での取組み事例(抜粋)

### ■津波発生時の予測システムを開発

- ・津波発生状況を精度よく予測
- ・今後、沿岸域防災計画に活用

(関西大学社会安全学部  
高橋教授との共同研究)

地震発生  
1分後



地震発生  
50分後



### ■避難手段の最後の砦 津波避難シェルター導入を支援

- ・概略設計を実施  
(高知県 危機管理部 南海地震対策課発注業務)
- ・今後、他地域での提案を展開



# 重点化事業(交通高度化・総合化、インフラ保全)

## 現在の取組み事例(抜粋)

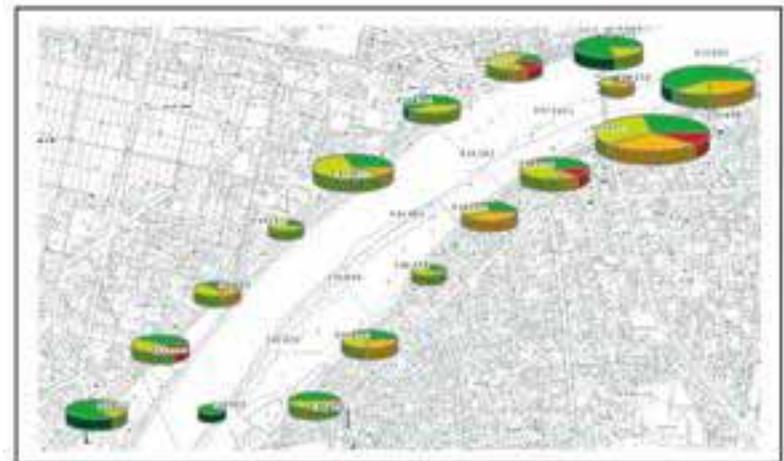
### ■安全でエコなラウンドアバウトを推進 (信号がない円形交差点)

- ・様々なモデル箇所で社会実験に参画  
(社会実験場所:長野県飯田市)
- ・ガイドライン作成検討にも参画



### ■河川維持管理のシステムを開発

- ・維持管理の効率化・高度化
- ・管理河川を  
直轄から地方自治体へ展開  
(国土交通省 河川事務所で導入)



# 海外事業

## 現在の取組み事例(抜粋)

### ■スリランカの高速度道路整備

- ・軟弱地盤、浸水氾濫地域に  
対応した設計
- ・施工監理業務を実施中



### ■ガーナの鉄道運行状況調査

- ・安全運行に向けた  
維持管理手法提案
- ・現地訓練の実施



# 震災復興

## 現在の取組み事例(抜粋)

### ■ 日本初の本格的な事業促進PPP(三陸沿岸道路)に参画

- ・ 普代久慈工区(25km)を  
官民一体で整備
- ・ 地区説明会により  
地域住民の要望を反映



### ■ 陸前高田市市街地の復興整備

- ・ 基本設計、地元説明会補助等を実施
- ・ 事業計画の立案等も含め復興へ貢献



## 感じてますか 未来の鼓動

『世界の人々の豊かなくらしと夢の創造』を目指し、今の業容にとらわれずサービス領域の無限大へ今後もチャレンジし続けます！



本資料および本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

# : 質疑応答



# APPENDICES

- 主要トピックス -



# 主要トピックス

## “限りなく死者ゼロを目指す”「地域防災計画」の策定

- 東日本大震災で得られた教訓や、科学的知見、専門家や住民の意見等を踏まえ、「災害に強いまちづくりの百科事典＝地域防災計画」策定支援を、様々な自治体で実施
- 客観的なデータや最新の科学的知見に基づいて被害を想定し、ハードとソフト両面の対策を自治体や市民との協働で検討・提案



▲関係者との協議

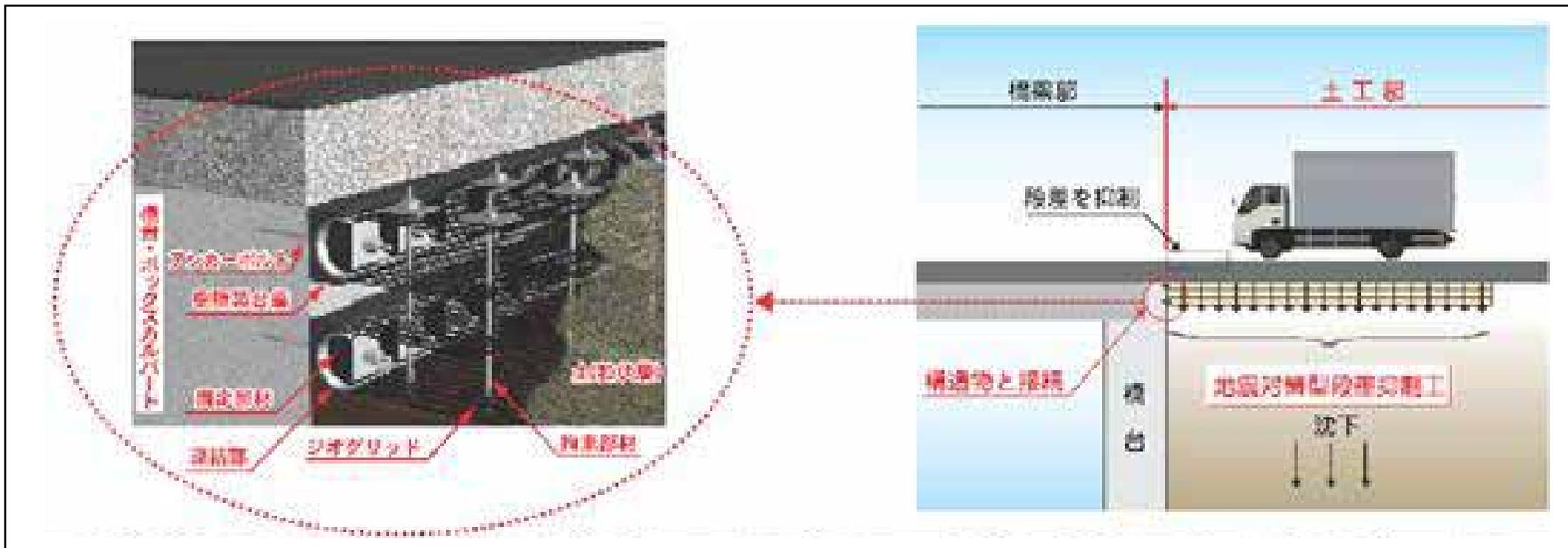


▲市民からの意見を集約

# 主要トピックス

## 橋台等の背面土工部沈下への有効な対策工法を共同開発

- 中央大学研究開発機構、(株)NIPPO、前田工織(株)により開発された「地震対策型段差抑制工」の適用拡大に向け、採用が困難な橋台や土被りの浅いボックスカルバートで使用できる工法を共同開発
- 土工部の耐震調査・診断・本工法などを使った対策等、一連の道路防災事業を提案、推進



▲「地震対策型段差抑制工」の構造

# 主要トピックス



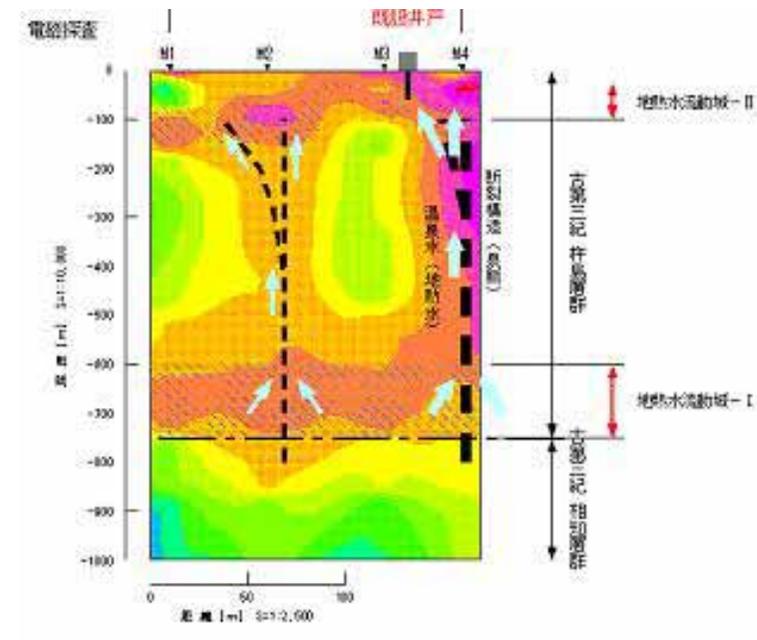
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

## 地熱/温泉熱を利用した発電のコンサルティングを実施

- 長崎県内の温泉において、地熱発電の新技术の採熱方式のサイトとしての適正を物理探査(電磁波および放射能)により評価
- 新潟県内、大分県内における地熱/温泉熱発電の候補地を抽出するとともに事業化までのコンサルティングを実施



▲対象地域写真



▲調査イメージ

## 主要トピックス



株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

### 都心大型ビルでの災害時用給水施設の整備を支援

- 災害時の必要不可欠なインフラとしてニーズが増加している都心での大型ビルに防災井戸の施工を実施
- これまで井戸原水の水質は、飲料水基準には適合しなかったが、当社技術の移動式ろ過滅菌装置により、飲料水としても使用可能

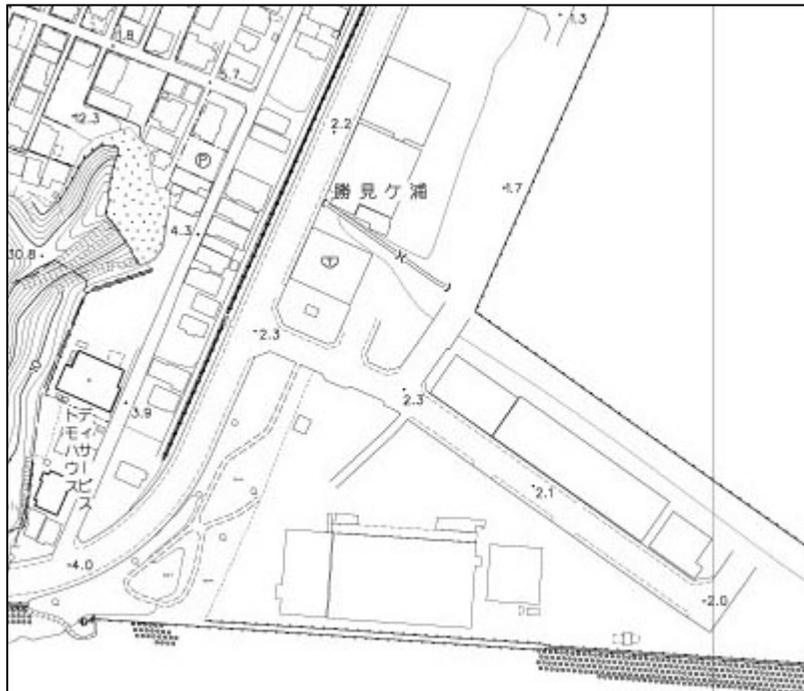


▲移動式ろ過滅菌装置

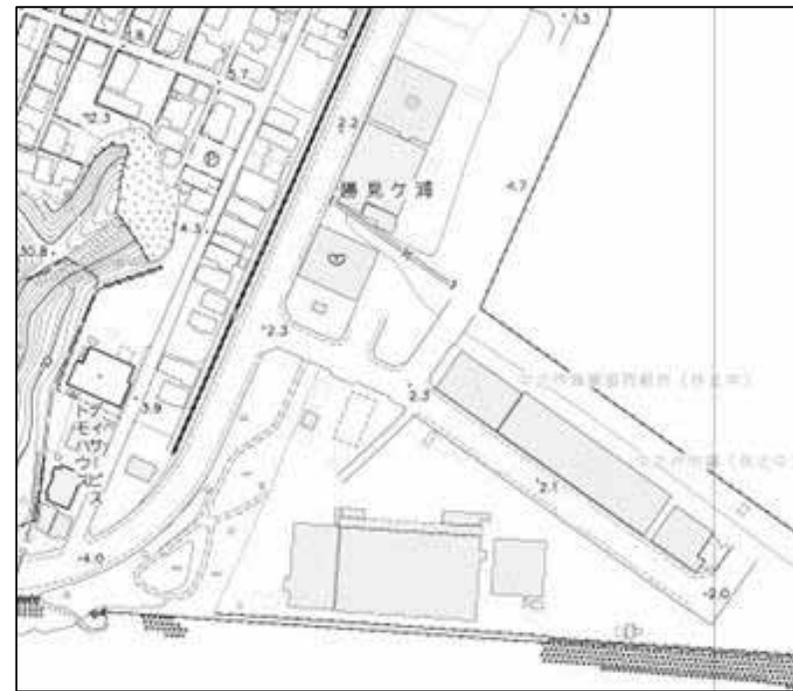
# 主要トピックス

## いわき市における災害復興計画を支援

- 東日本大震災後に、いわき市東部地区の都市計画図提供を行うため、空中写真撮影を行い地形図を作成
- また、通常の都市計画図図式に加え、津波による崩落部、流失・倒壊した建物、亡失した鉄道等の特記項目のデータ取得を実施



▲都市計画図



▲復興基図

## 主要トピックス

### 島根県での小水力発電設置に向けた調査を支援

- 島根県内において、維持管理が容易な砂防えん堤、小河川の落差工、農業用水路、頭首工などを利用した、概ね最大出力2kw以下の規模の小水力発電の適地調査を実施



▲調査状況写真

# 主要トピックス

## 水道事業における事業継続計画 (BCP) を策定

- 神奈川県内広域水道企業団において、地震・津波被害想定調査に基づく被害想定、災害時の構成団体への水供給の継続、早期の業務回復等の計画を策定
- 事業継続の実践管理 (BCM) として、教育・訓練計画、計画の実効性、最新性を確保するための継続的改善計画も策定

## 東京都における下水処理施設の耐震補強設計を実施

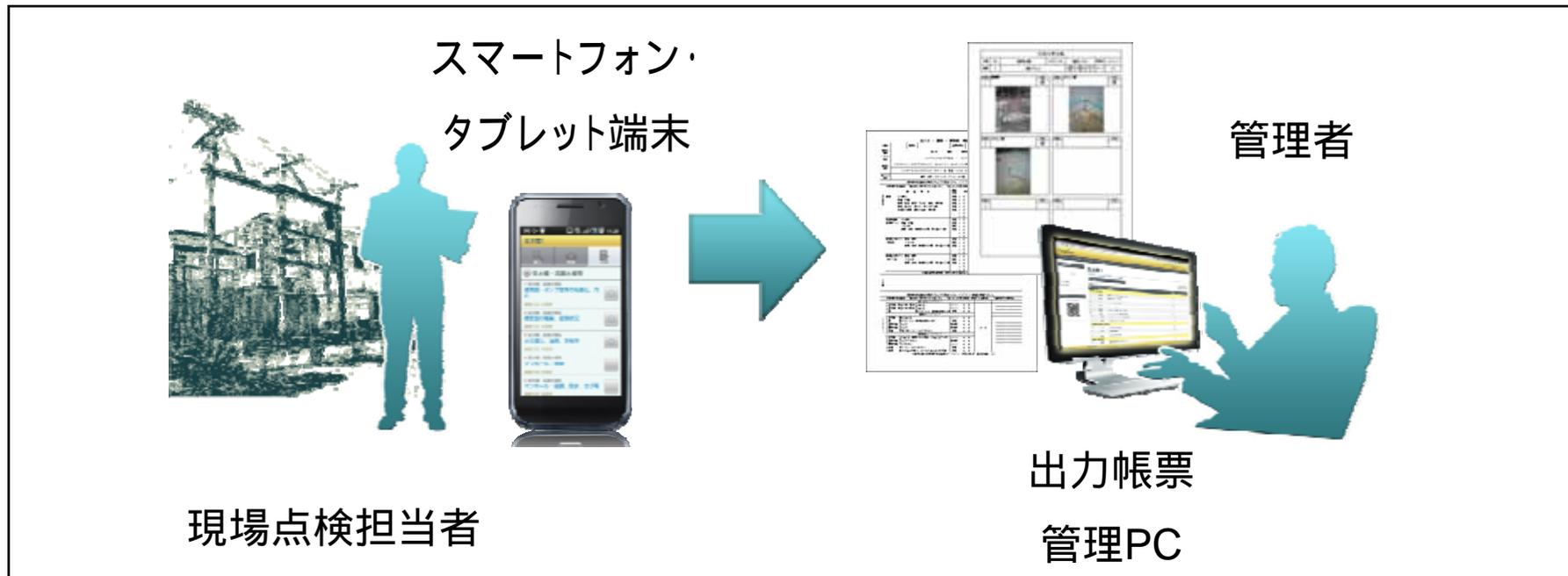
- 昭和48年に建設開始、昭和57年に稼動した東京都小菅水再生センターのコンクリート劣化調査及び新耐震基準に基づいた耐震診断及び補強検討を実施

# 主要トピックス



点検情報の円滑な管理が実現できる『CheckNote』を提供

○クラウドコンピューティング環境を利用したデータベースとスマートデバイスの連携により、点検結果の取りまとめや帳票作成にかかる負荷を軽減し、進捗のリアルタイム監視や写真整理など、様々な点検情報の円滑な管理を実現



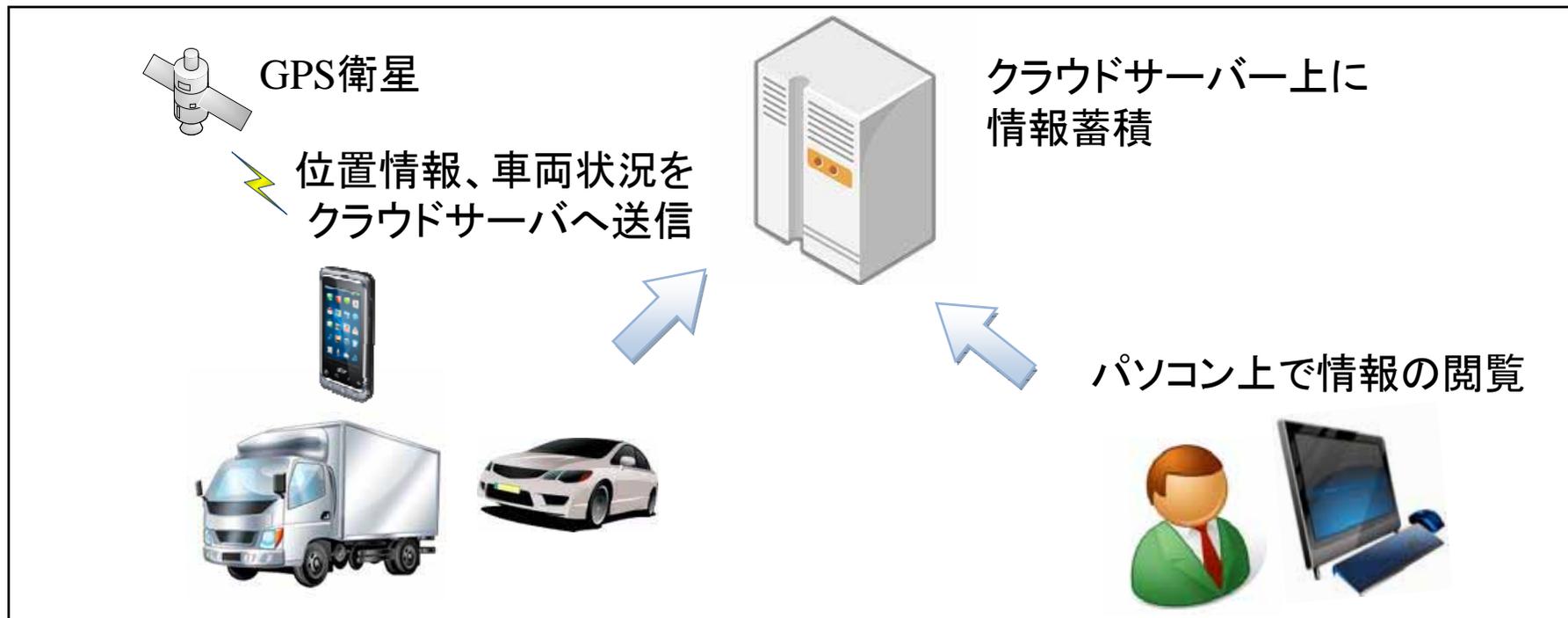
▲『CheckNote』サービスイメージ

# 主要トピックス



## 位置、車両状況のリアルタイム管理サービスを提供

○スマートデバイスより取得した情報をパソコン上に表示し、車両の現在地や車両の状況などを管理者がリアルタイムで確認できるように、車両の位置情報や車両状況を管理するサービス



▲動態管理クラウドサービスイメージ

# APPENDICES

- 連結決算詳細 -



# 連結貸借対照表

(単位:百万円)	前期		当期		増減額	
流動資産	13,135	(73.6%)	12,952	(74.7%)	183	・受取手形、売掛金、差入保証金の減少等の影響
固定資産	4,677	(26.2%)	4,369	(25.2%)	308	
<b>資産合計</b>	17,838	(100.0%)	17,338	(100.0%)	500	
流動負債	9,370	(52.5%)	9,523	(54.9%)	153	・借入金の返済及び社債の償還等の影響
固定負債	3,146	(17.6%)	2,382	(13.7%)	764	
<b>負債合計</b>	12,517	(70.2%)	11,905	(68.7%)	612	
資本金	503	(2.8%)	503	(2.9%)	-	
資本剰余金	748	(4.2%)	748	(4.3%)	-	
利益剰余金	4,019	(22.5%)	4,206	(24.2%)	187	
少数株主持分	341	(1.9%)	258	(1.5%)	83	・当期純利益増加等の影響
<b>純資産合計</b>	5,321	(29.8%)	5,432	(31.3%)	111	
<b>負債・純資産合計</b>	17,838	(100.0%)	17,338	(100.0%)	500	

※前期: 11/09期 当期: 12/09期

# 負債内訳表

(単位:百万円)	前期		当期		増減額
短期借入金	1,670	(13.3%)	710	(6.0%)	960
1年内償還予定 の社債	340	(2.7%)	340	(2.9%)	-
その他	7,360	(58.8%)	8,473	(71.2%)	1,113
<b>流動負債計</b>	<b>9,370</b>	<b>(74.9%)</b>	<b>9,523</b>	<b>(80.0%)</b>	<b>153</b>
社債	1,190	(9.5%)	850	(7.1%)	340
長期借入金	550	(4.4%)	400	(3.4%)	150
その他	1,406	(11.2%)	1,132	(9.5%)	274
<b>固定負債合計</b>	<b>3,146</b>	<b>(25.1%)</b>	<b>2,382</b>	<b>(20.0%)</b>	<b>764</b>
<b>負債合計</b>	<b>12,517</b>	<b>(100.0%)</b>	<b>11,905</b>	<b>(100.0%)</b>	<b>612</b>

有利子負債  
の減少

※前期: 11/09期 当期: 12/09期

# 連結損益計算書 / 受注高

(百万円)

	前期		当期		増減額	
売上高	28,801	(100.0%)	31,190	(100.0%)	2,389	・国内受注好調等による売上増加
売上原価	21,691	(75.3%)	23,870	(76.5%)	2,179	
販売費・ 一般管理費	6,933	(24.1%)	6,944	(22.3%)	11	・売上増加、経費削減等により営業利益が増加
営業利益	176	(0.6%)	375	(1.2%)	199	
経常利益	102	(0.4%)	345	(1.1%)	243	
当期純利益	942	( 3.3%)	227	(0.7%)	1,169	
受注高	33,815	-----	34,489	-----	674	・震災復興等による国内公共、国内民間の受注増加

※前期：11/09期 当期：12/09期

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	前期	当期	増減額
営業活動による キャッシュフロー	278	2,259	1,981
投資活動による キャッシュフロー	263	320	57
財務活動による キャッシュフロー	51	1,506	1,455
現金及び現金同等物 の四半期末残高	1,237	1,634	397

・好調な受注状況による入金額増大等により大幅に改善

・営業キャッシュフローの改善に伴う短期借入金及び長期借入金、社債の償還等の影響

※前期：11/09期 当期：12/09期

## 指標関係(連結)

	単位	前期	当期
1株当たり当期純利益(EPS)	(円)	180.01	44.79
自己資本比率	(%)	27.9	29.8
自己資本純利益率(ROE)	(%)	17.1	4.5
総資産経常利益率(ROA)	(%)	0.6	2.0
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	0.22	0.27

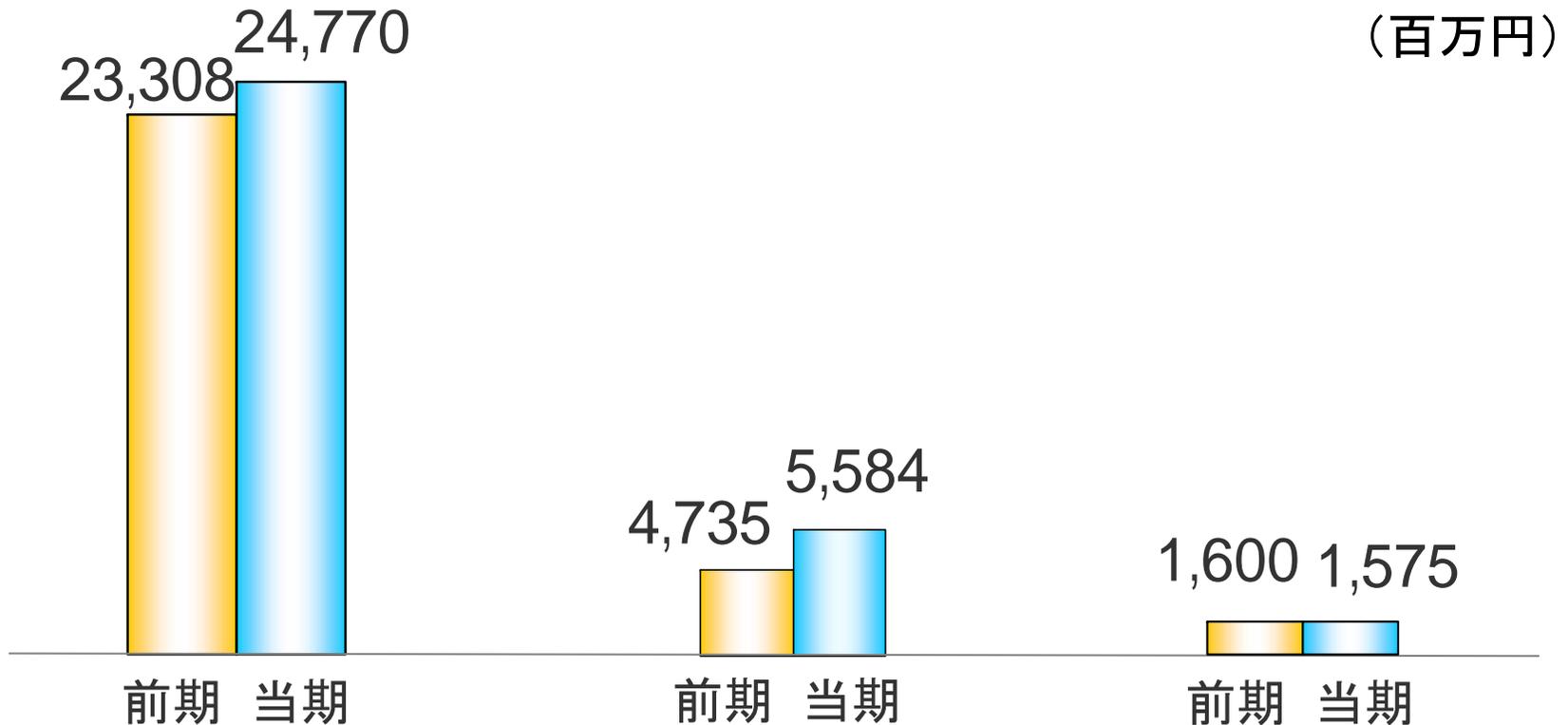
※上記は、前期：2011/9/30（218円）、当期：2012/9/28（279円）  
 の株価の終値をもとに整理

# セグメント別売上高について

インフラマネジメント

環境マネジメント

その他



※前期：11/09期 当期：12/09期

# お問い合わせ先





銘柄略称: ACKG

証券コード: 2498

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <http://www.ack-g.com>

(銘柄略称: ACKG / 証券コード: 2498)

問合せ 企画開発本部 野崎 秀則

e-mail: [ir-ackg@ack-g.com](mailto:ir-ackg@ack-g.com)

本日はご多忙の中、  
弊社の決算説明会にご来場いただき、  
誠にありがとうございました。

